



# 感染症週報



(三宅管内感染症発生動向調査報告)

令和7(2025)年 第4週 (1/20~1/26)

三宅島 インフルエンザ : 3 件

御蔵島 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) : 2 件

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)

## 東京都の注目される定点把握対象疾患 <東京都感染症週報 第3週>

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、10.28で前週(21.93)より減少しています。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は、2.32で前週(2.43)からほぼ横ばいです。
- ・新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、2.89で前週(3.73)より減少しています。

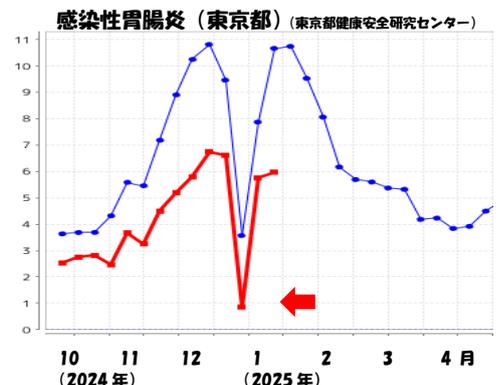
## 島しょの情報 (11島の医療機関からの報告) <第4週 (1/20~1/26)>

- ・インフルエンザの医療機関あたりの報告数は、1.64 で前週(7.91)より減少しています。
  - ・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、1.18 で前週(0.82)より増加しています。
- 油断せず状況に合わせて、手洗い・咳エチケット・部屋の換気の基本的な感染対策を続けてください。

## NEWS 感染性胃腸炎(ノロウイルスなど)に注意

- 感染性胃腸炎は、例年、11月頃から3月頃まで発生します。原因ウイルスは、主に「ノロウイルス」「サポウイルス」「アデノウイルス」「ロタウイルス」などで、手指や食品等を介して口に入り、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な人の多くは軽症で済みますが、子どもや高齢者では、脱水症状を生じ重症化することもあるため、体調の変化に注意しましょう。感染経路は、①感染者の吐物やふん便の不適切な処理や、処理後の不十分な手洗いにより、手や環境中に残ったウイルスが体内に入った場合、②感染した人が十分に手を洗わず調理し食品が汚染され、それを食べた場合、③病原体で汚染されている食品を食べた場合があります。

- 感染性胃腸炎の原因ウイルスはアルコール消毒の効果が乏しく、流水と石けんでしっかり手洗いを行うことが大切です。特に排便後や調理、食事の前には、都度手を洗いましょう。また、感染者の吐物やふん便を処理する時は、使い捨ての手袋、マスク、エフロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム(塩素系の漂白剤)で処理し、処理後、再び石けんと流水で十分に手を洗うことが大切です。ノロウイルスの汚染のおそれのある二枚貝などの食品を調理する場合は、中心部まで十分に加熱しましょう(中心温度 85℃~90℃で 90 秒以上の加熱)。(参考:感染性胃腸炎の季節到来!東京都健康安全研究センター)



<編集・発行> 東京都島しょ保健所 三宅出張所  
電話 04994-2-0181 FAX04994-2-1009

<https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>



感染性胃腸炎の流行状況  
(東京都健康安全研究センター)



中心部まで  
十分に加熱!

# 島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

## 三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

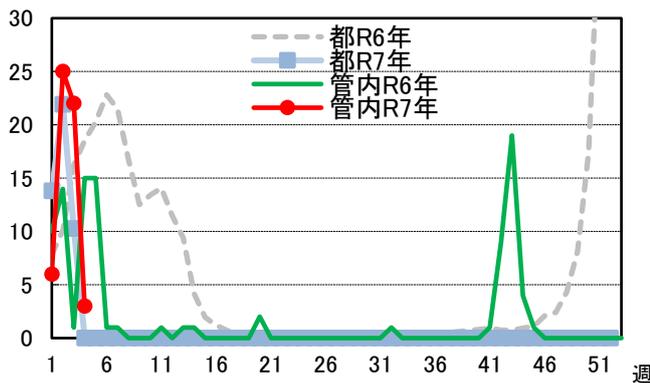
疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ/ COVID-19定点)	令和7(2025)年				令和7(2025)年 累計	東京都 定点あたり 3週
	1週	2週	3週	4週		
RSウイルス感染症					0 (0)	0.35
咽頭結膜熱					0 (0)	0.10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎					0 (0)	1.76
感染性胃腸炎					0 (0)	5.98
水痘					0 (0)	0.22
手足口病					0 (0)	0.07
伝染性紅斑					0 (0)	2.32
突発性発しん					0 (0)	0.20
ヘルパンギーナ					0 (0)	0.01
流行性耳下腺炎					0 (0)	0.03
MCLS(川崎病)					0 (0)	0.01
不明発しん症					0 (0)	0.02
インフルエンザ	6 (0)	25 (1)	22 (2)	3 (0)	56 (3)	10.28
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	9 (0)			2 (2)	11 (2)	2.89

※カッコ内: 御蔵島報告数の再掲

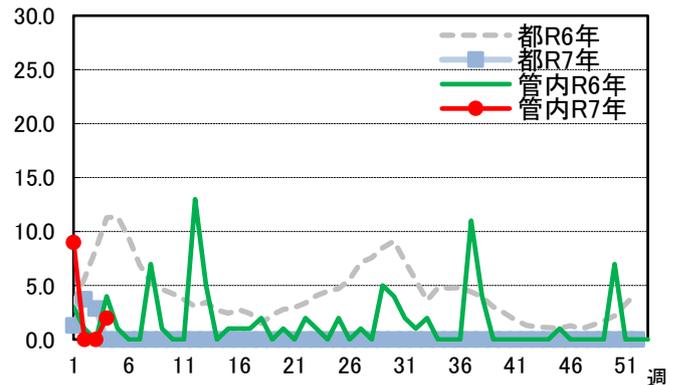
### 【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ

管内は三宅・御蔵両島の発生数計  
都は定点あたり発生数

#### ■ インフルエンザ



#### ■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、  
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

管内の感染症状況は、インフルエンザ陽性者が多く発生しています。  
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、  
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。